

# 衆議院経済産業委員会ニュース

【第211回国会】令和5年3月17日（金）、第4回の委員会が開かれました。

## 1 脱炭素成長型経済構造への円滑な移行の推進に関する法律案（内閣提出第12号）

・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人） 東京大学副学長・公共政策大学院教授

大橋弘君

京都大学大学院経済学研究科教授

諸富徹君

ポストンコンサルティンググループ

マネージング・ディレクター&シニア・パートナー

重竹尚基君

日本労働組合総連合会副事務局長

石上千博君

（質疑者） 井原巧君（自民）、中野洋昌君（公明）、落合貴之君（立憲）、小野泰輔君（維新）、鈴木義弘君（国民）、笠井亮君（共産）

（質疑者及び主な質疑事項）

### 井原 巧君（自民）

- （1） 本法案が脱炭素に向けた国際公約を達成できる設計となっているかについての評価及び本法案の課題についての大橋参考人及び重竹参考人の見解
- （2） GX経済移行債20兆円の金額の妥当性についての大橋参考人及び諸富参考人の見解
- （3） 中小企業も含むサプライチェーン全体における排出量の見える化についての大橋参考人及び石上参考人の見解
- （4） 地方の好事例を踏まえた官民によるGXへの取組に対する評価手法の在り方についての大橋参考人の見解

### 中野洋昌君（公明）

- （1） 我が国のGXへの取組状況及び技術開発を進める上で重要な点についての大橋参考人の見解
- （2） 排出量取引制度の規模の妥当性及び更なる拡大に向け力を入れるべき点についての大橋参考人及び諸富参考人の見解
- （3） 複雑化しているエネルギーに関する諸制度に関し整理すべき点についての大橋参考人の見解

### 落合貴之君（立憲）

- （1） 公正な移行のための「重層的セーフティネットの構築」に必要な施策についての大橋参考人の見解
- （2） GX推進に伴う地域経済への影響を緩和するために必要な施策についての大橋参考人の見解
- （3） GXに係る社会実装後の拡大段階において必要な施策についての大橋参考人の見解
- （4） 電力システム改革の現状を踏まえた電力分野におけるGXの課題についての大橋参考人の見解
- （5） 価格転嫁の現状及びGX推進の観点から踏まえて今後必要となる価格転嫁対策についての大橋参考人の見解

### 小野泰輔君（維新）

- （1） ペナルティを科さずに排出権取引の対象に一定量のCO<sub>2</sub>を排出している企業を含めた場合の効果についての大橋参考人の見解
- （2） 国民に対して化石燃料諸税を明示することの意味についての大橋参考人の見解
- （3） 本法案に関してアジャイル型で制度設計を最適化するための具体的な政策についての大橋参考人の見解

見解

- (4) 大きなイノベーションの可能性は電力の需要側にあるとする諸富参考人の見解についての詳細

**鈴木義弘君（国民）**

- (1) CO<sub>2</sub>排出削減に向けて個人及び企業に対して考え方や行動を変えるインセンティブを与える重要性についての大橋参考人及び諸富参考人の見解
- (2) 本法律案が利便性を重視する社会の価値観の転換に向けて果たす役割についての各参考人の見解

**笠井亮君（共産）**

- (1) CO<sub>2</sub>排出削減や燃料自給の観点から再生可能エネルギーの導入を促進する必要性についての大橋参考人、重竹参考人及び石上参考人の見解
- (2) これまでカーボンプライシング制度が導入されなかったことにより我が国の強みである脱炭素技術を生かせず産業競争力の強化を妨げていた可能性についての諸富参考人の見解
- (3) 排出削減を目的としない化石燃料賦課金の制度設計ではCO<sub>2</sub>排出削減効果を期待できないとの懸念についての諸富参考人の見解
- (4) 自主的な取組とする排出量取引制度の実効性についての諸富参考人の見解
- (5) 環境省のカーボンプライシングの活用に関する小委員会における議論が本法律案に反映されているかについての諸富参考人の見解